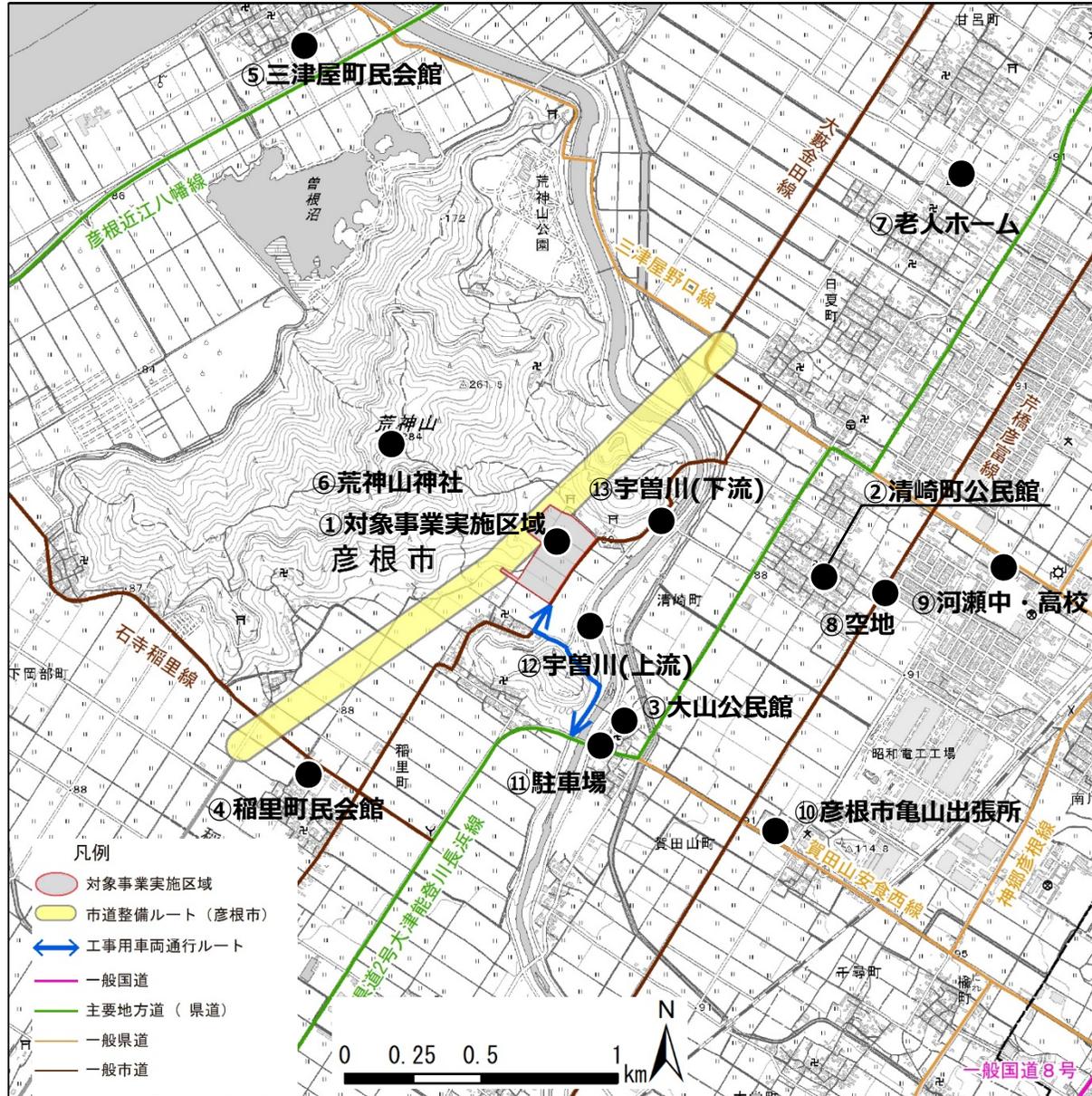
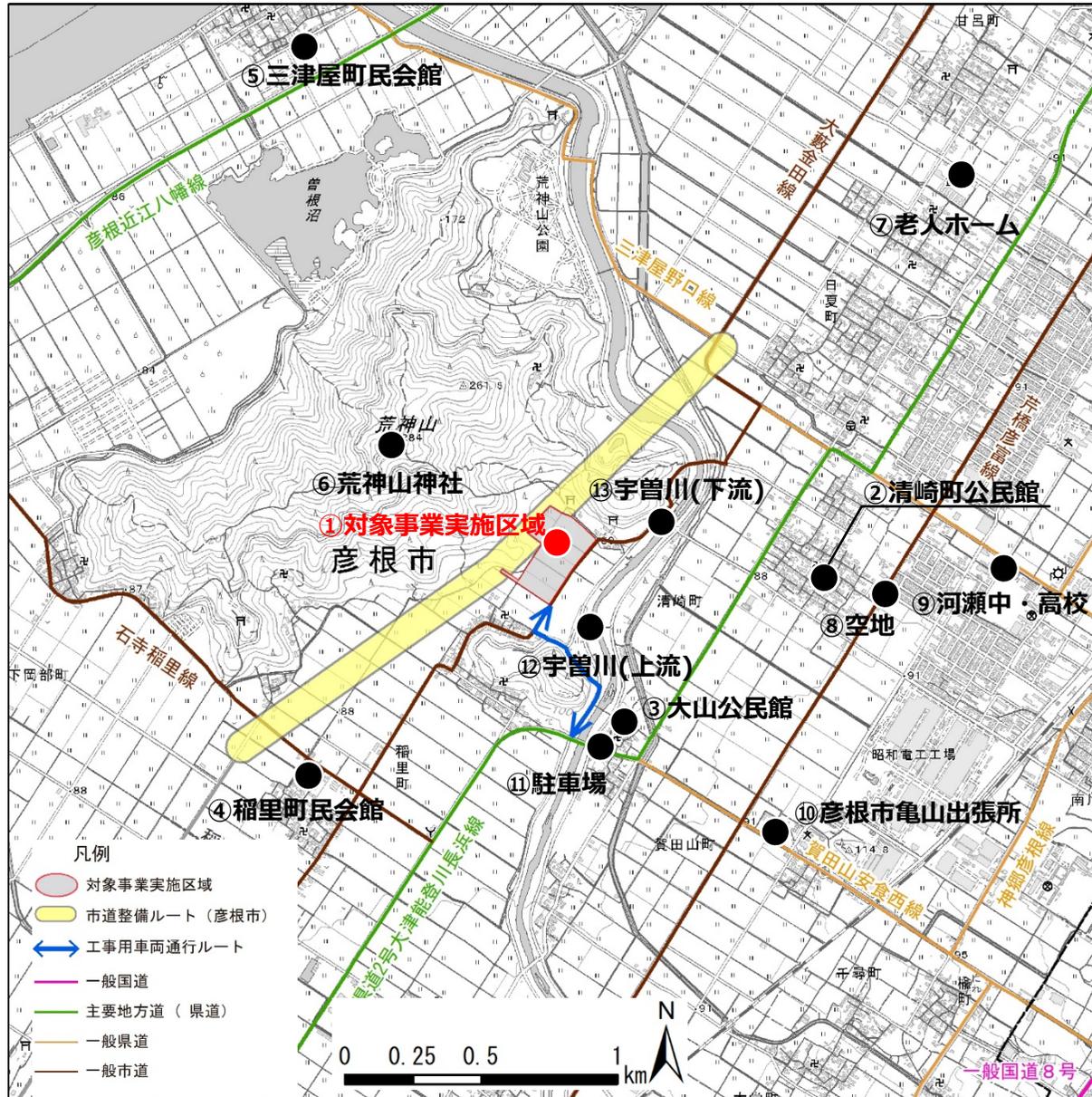


現況調査地点(総括)



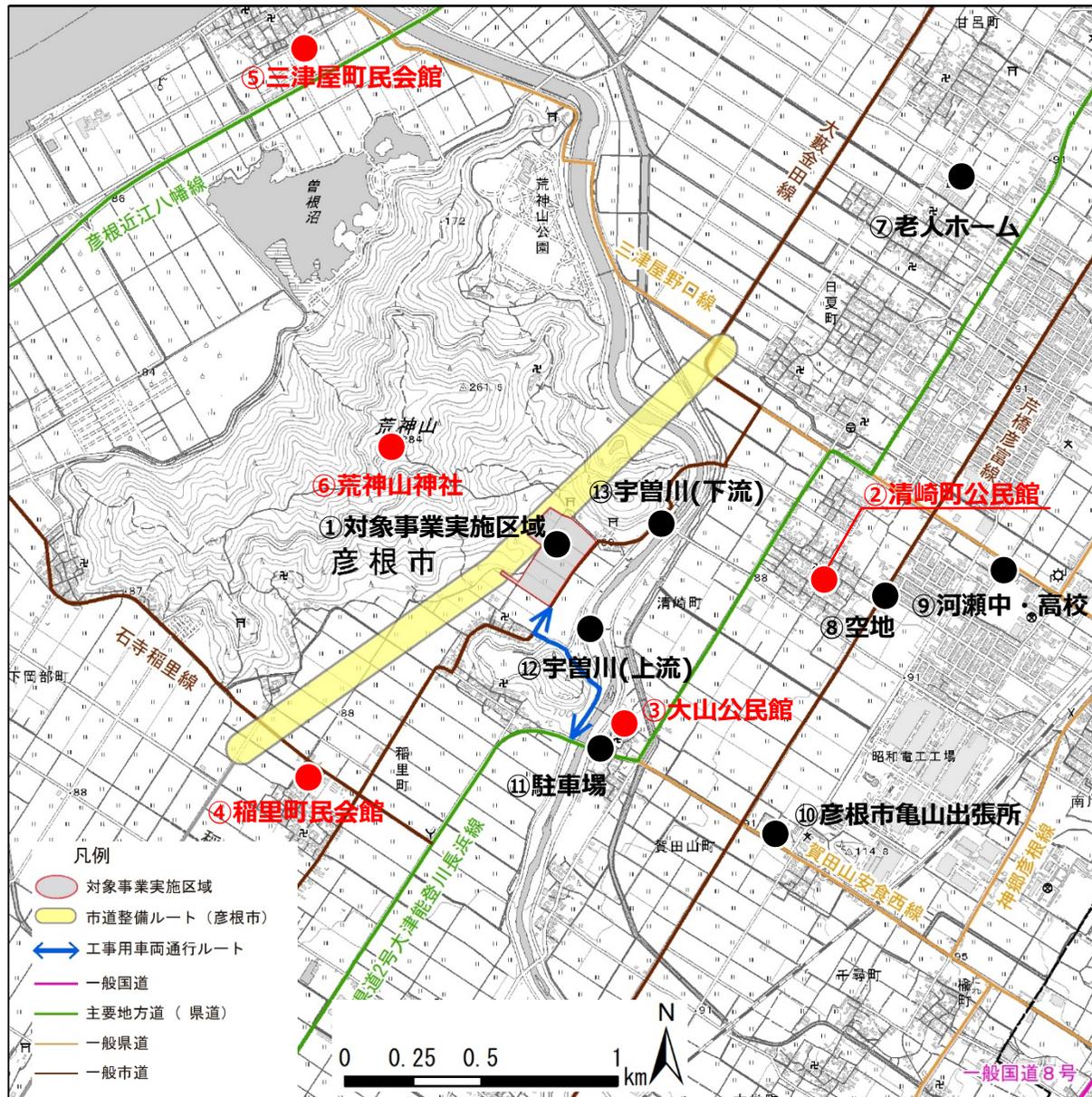
	大気質			騒音等		悪臭・土壌	水質
	地上・上層気象	一般環境大気質	降下ばいじん	沿道環境大気質	環境騒音・振動・低周波音		
①	●		●		●		
②		●	●		●		●
③		●	●		●		●
④		●	●		●		●
⑤		●					●
⑥		●	●		●		●
⑦				●		●	
⑧				●		●	
⑨				●		●	
⑩				●		●	
⑪				●		●	
⑫							●
⑬							●

現況調査地点(地上・上層気象)



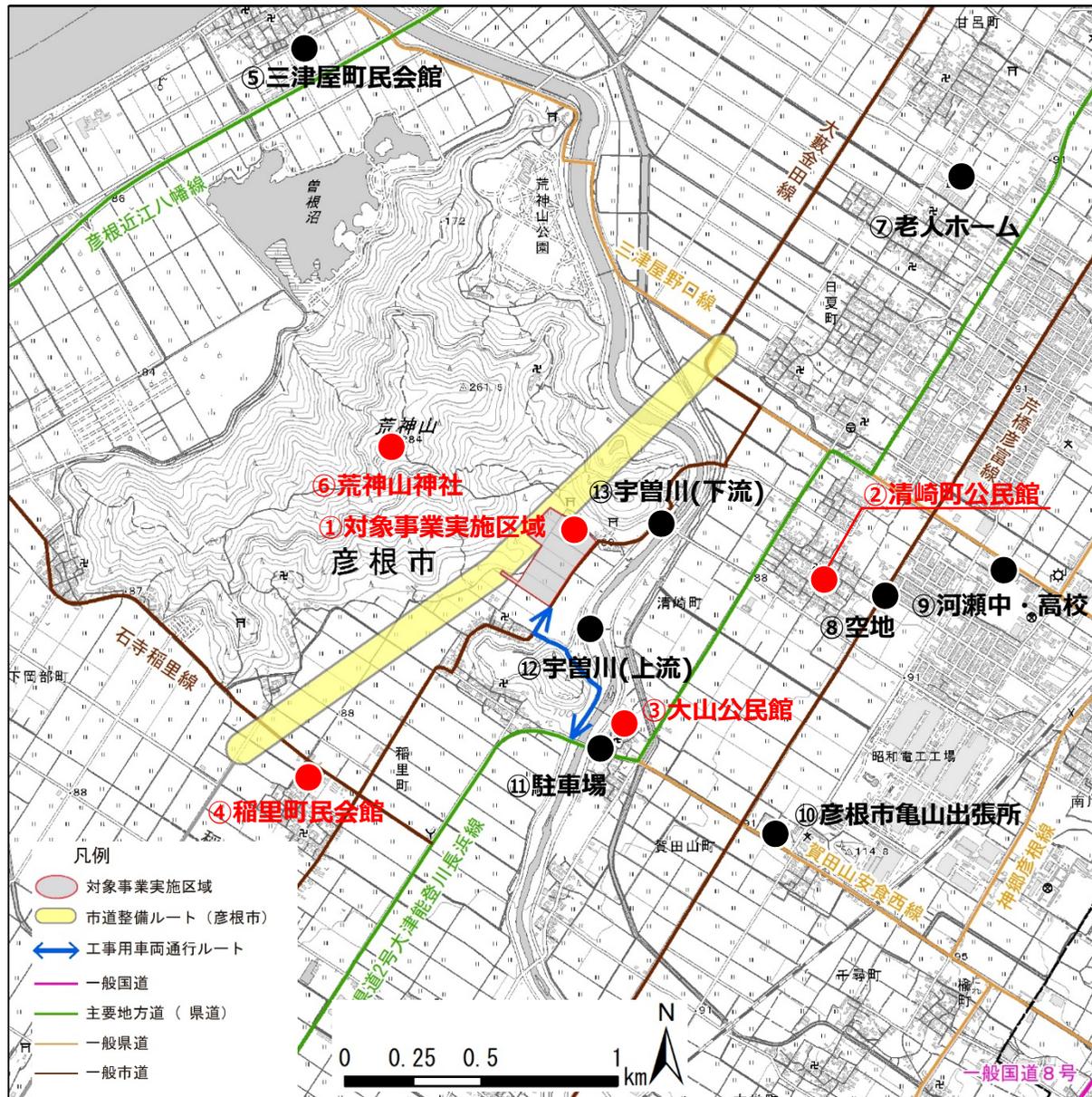
	大気質			騒音等		悪臭・土壌	水質
	地上・上層気象	一般環境大気質	降下ばいじん	沿道環境大気質	環境騒音・振動・低周波音		
①	●		●		●		
②		●	●		●		●
③		●	●		●		●
④		●	●		●		●
⑤		●					●
⑥		●	●		●		●
⑦				●		●	
⑧				●		●	
⑨				●		●	
⑩				●		●	
⑪				●		●	
⑫							●
⑬							●

現況調査地点(一般環境大気質)



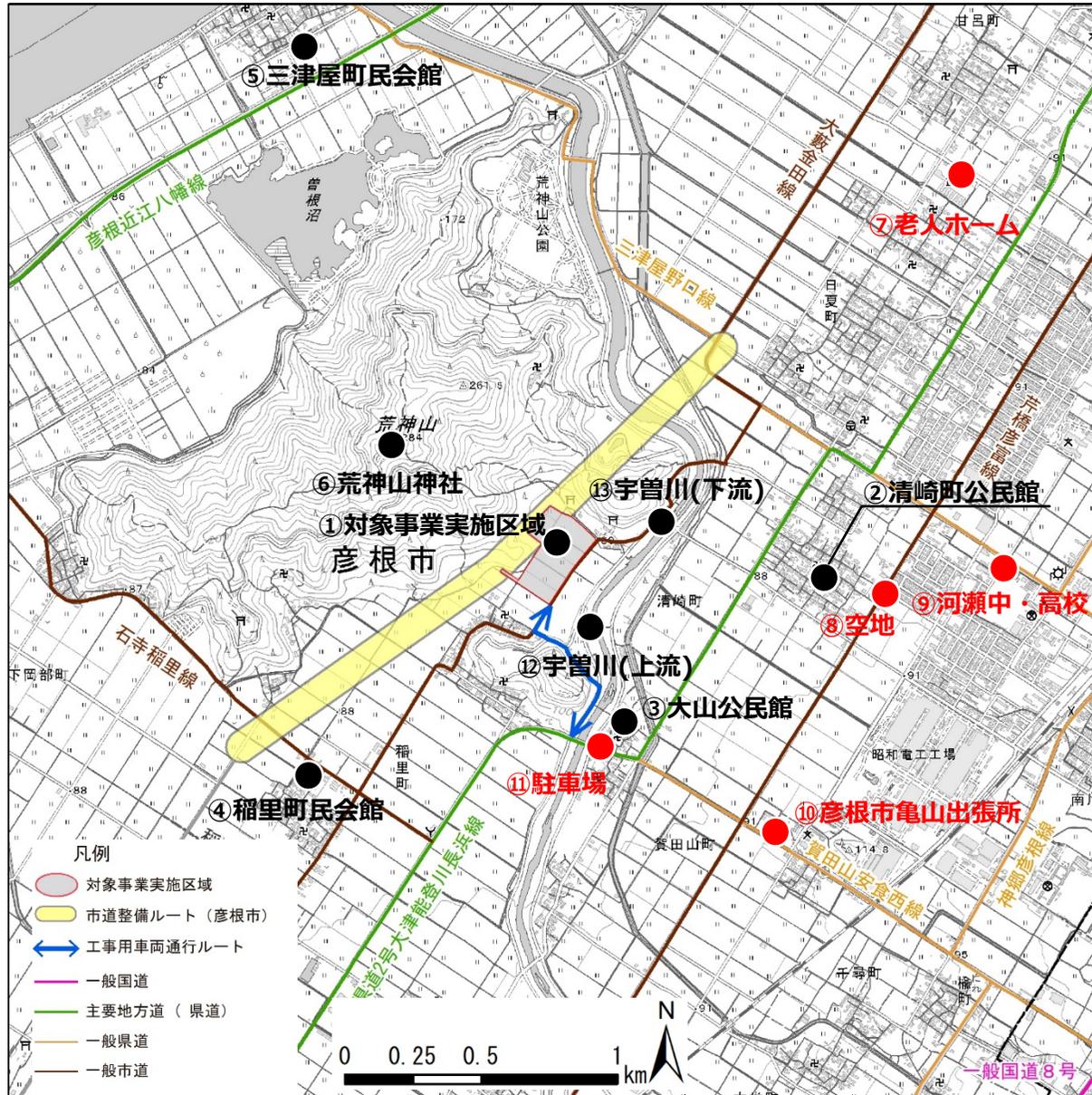
	大気質			騒音等		悪臭・土壌	水質
	地上・上層気象	一般環境大気質	降下ばいじん	沿道環境大気質	環境騒音・振動・低周波音		
①	●		●		●		
②		●	●		●		●
③		●	●		●		●
④		●	●		●		●
⑤		●					●
⑥		●	●		●		●
⑦				●		●	
⑧				●		●	
⑨				●		●	
⑩				●		●	
⑪				●		●	
⑫							●
⑬							●

現況調査地点(降下ばいじん、環境騒音・振動・低周波音)



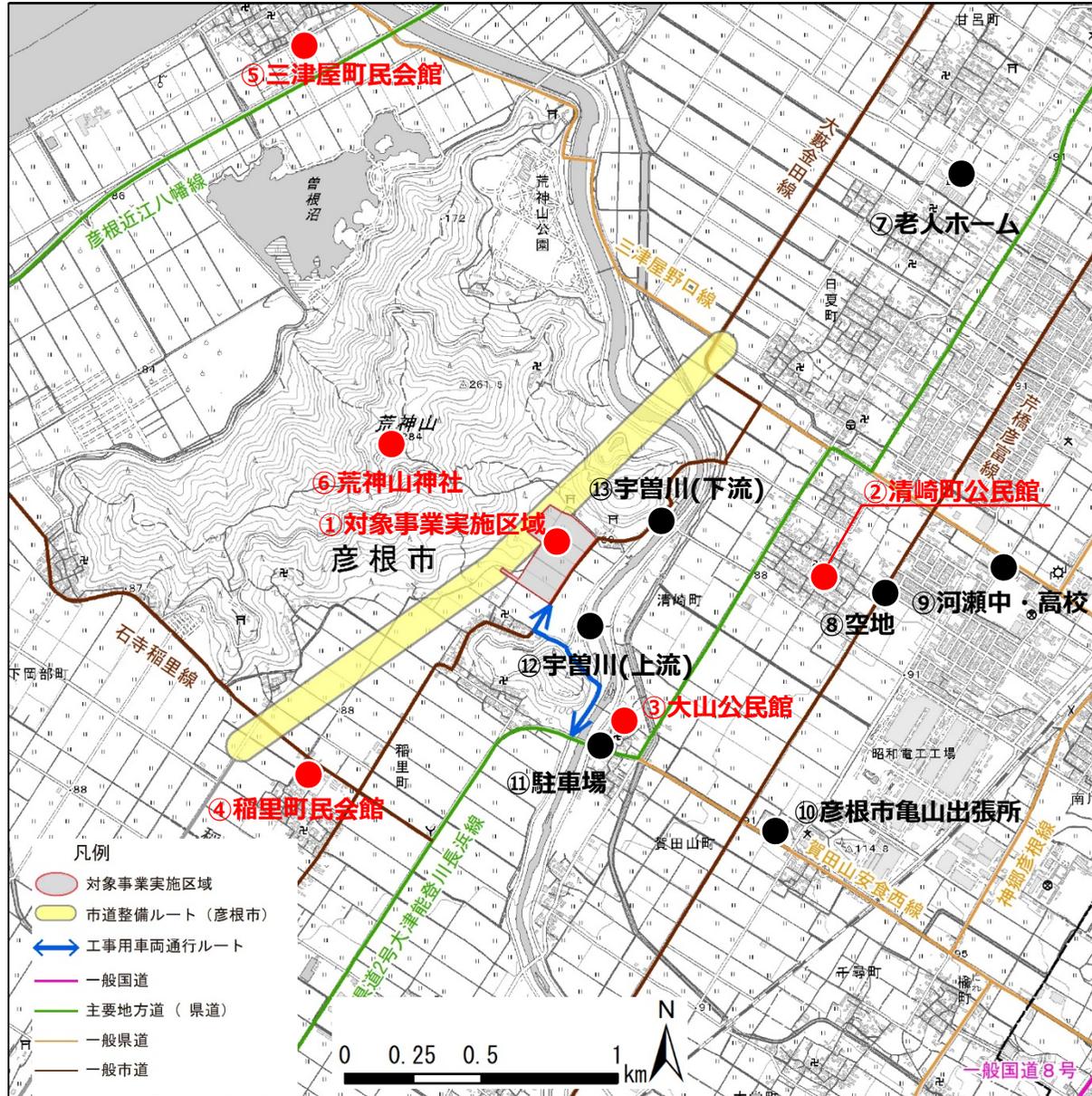
	大気質			騒音等		悪臭・土壌	水質
	地上・上層気象	一般環境大気質	降下ばいじん	沿道環境大気質	環境騒音・振動・低周波音		
①	●		●		●		
②		●	●		●		●
③		●	●		●		●
④		●	●		●		●
⑤		●					●
⑥		●	●		●		●
⑦				●		●	
⑧				●		●	
⑨				●		●	
⑩				●		●	
⑪				●		●	
⑫							●
⑬							●

現況調査地点(沿道環境大気質/道路交通騒音・振動)



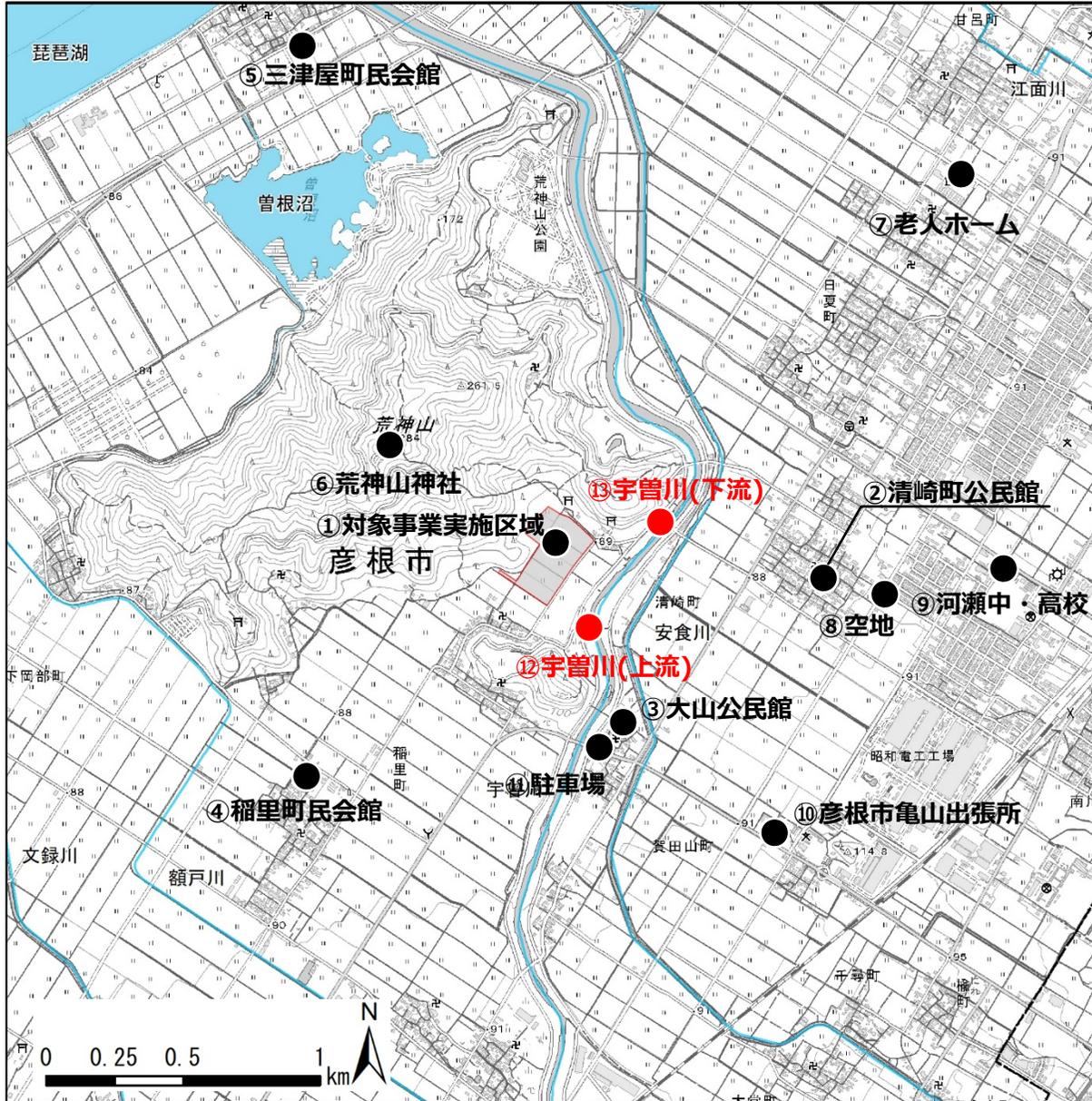
	大気質			騒音等		悪臭・土壌	水質
	地上・上層気象	一般環境大気質	降下ばいじん	沿道環境大気質	環境騒音・振動・低周波音		
①	●		●		●		
②		●	●		●		●
③		●	●		●		●
④		●	●		●		●
⑤		●					●
⑥		●	●		●		●
⑦				●	●		
⑧				●	●		
⑨				●	●		
⑩				●	●		
⑪				●	●		
⑫							●
⑬							●

現況調査地点(悪臭・土壌)

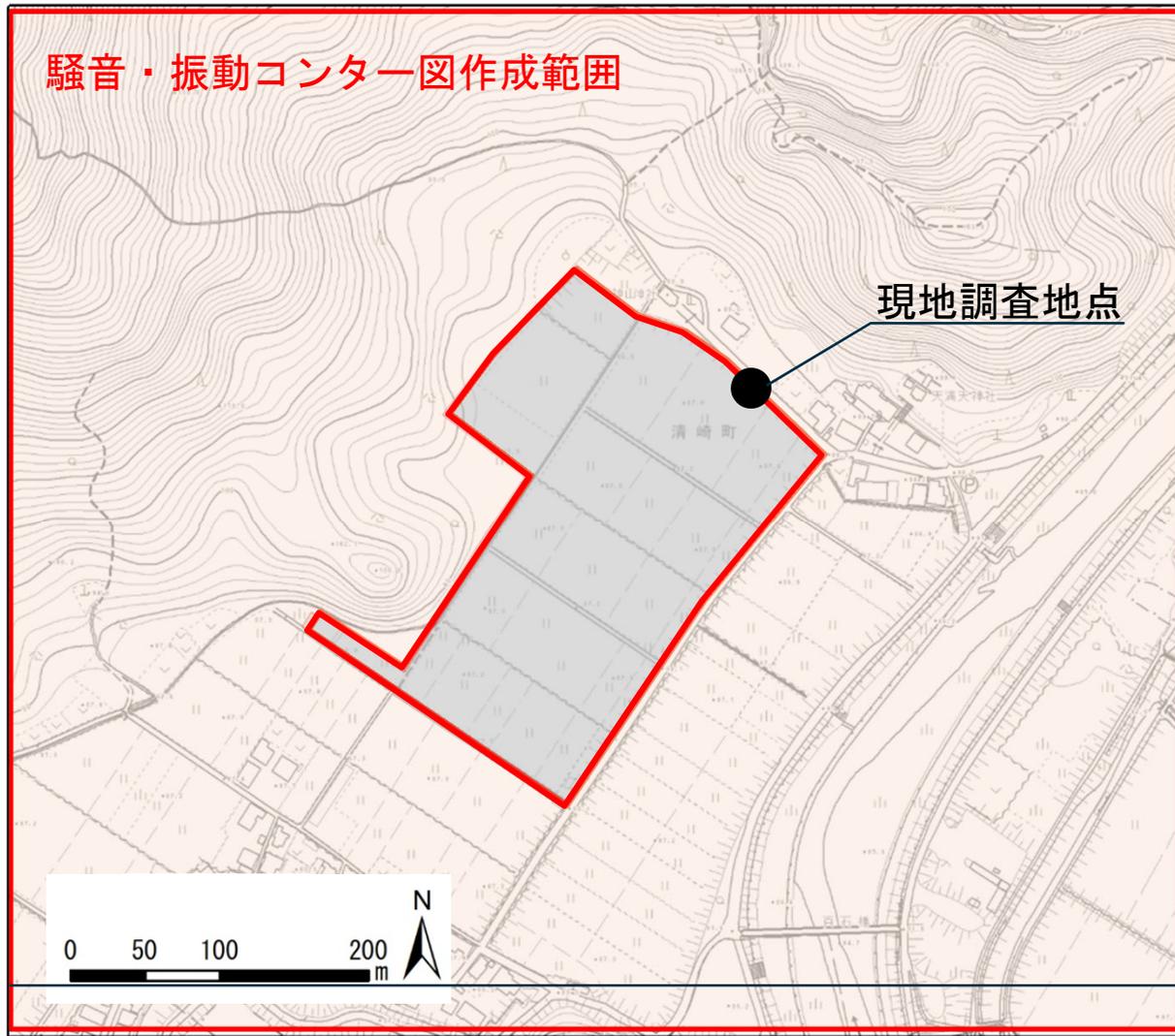


	大気質			騒音等		悪臭・土壌	水質
	地上・上層気象	一般環境大気質	降下ばいじん	沿道環境大気質	環境騒音・振動・低周波音		
①	●		●		●	●	
②		●	●		●	●	
③		●	●		●	●	
④		●	●		●	●	
⑤		●				●	
⑥		●	●		●	●	
⑦				●			
⑧				●			
⑨				●			
⑩				●			
⑪				●			
⑫							●
⑬							●

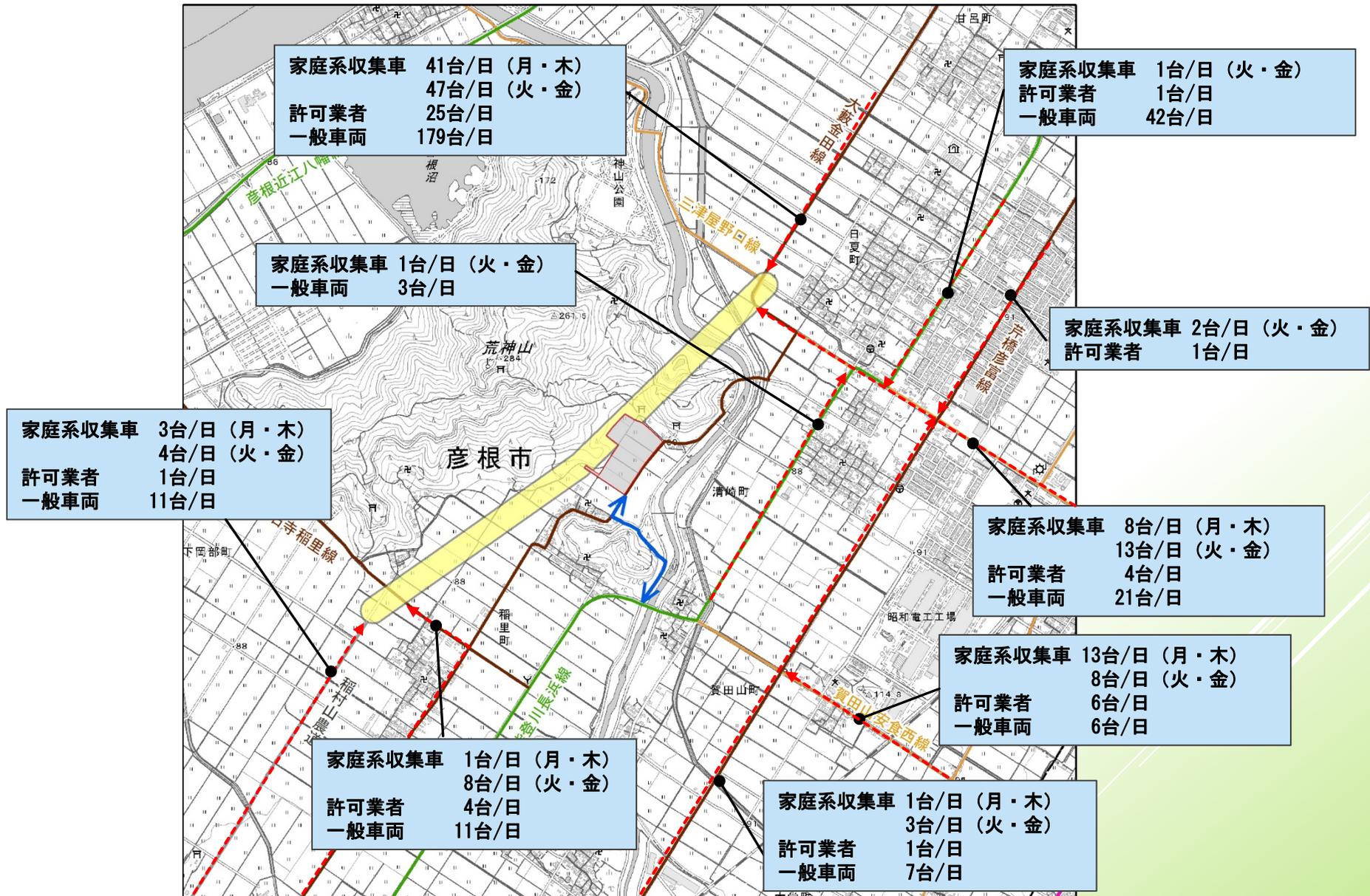
現況調査地点(水質)



調査地点	大気質			騒音等		悪臭・土壌	水質
	地上・上層気象	一般環境大気質	降下ばいじん	沿道環境大気質	環境騒音・振動・低周波音		
①	●		●		●	●	
②		●	●		●	●	
③		●	●		●	●	
④		●	●		●	●	
⑤		●				●	
⑥		●	●		●	●	
⑦				●		●	
⑧				●		●	
⑨				●		●	
⑩				●		●	
⑪				●		●	
⑫							●
⑬							●



施設関連車両走行台数



●調査回数・時期は、国土交通省が直轄河川区間において定期的実施する河川環境モニタリング調査（河川水辺の国勢調査）と同等以上である。

分類群	本事業方法書	河川水辺の国勢調査
哺乳類	4回(春、夏、秋、冬)	3回以上 (早春～初夏: 2回、秋: 1回)
爬虫類	3回(春、夏、秋)	
両生類	4回(早春、春、初夏、秋)	
鳥類	4回(春、初夏、秋、冬)	2回以上(繁殖期、越冬期)
昆虫類	3回(春、夏、秋)+初夏ミドリシジミ類	3回以上(春、夏、秋)
陸産貝類	2回(初夏・秋)	(対象外)
魚類	4回(春、夏、秋、冬)	2回以上(春から秋)
底生動物	4回(春、夏、秋、冬)	2回以上(初夏～夏、冬～早春)
植物相	4回(早春、春、夏、秋)	2回以上(春～初夏、秋)
植生	1回(春～秋)	1回以上(秋)

※赤字は、上回っている項目を示す。 青字は、同等スペックの項目を示す。

- トラップ調査の諸元は、「河川水辺の国勢調査」と同等以上である。
- 地表徘徊性昆虫をターゲットとした調査は、捕獲を偶然性に頼るピットフォールトラップではなく、積極的に誘引するベイトトラップによる調査を実施する。

調査内容		項目	本事業方法書	水国マニュアル
哺乳類	トラップ法 (シャーマントラップ)	回数	4回(春、夏、秋、冬)	2回(春から初夏、秋)
		個数	30個(3環境×10)	30個
		期間	2晩	2晩
	自動撮影法	回数	4回(春、夏、秋、冬)	2回(春から初夏、秋)
		個数	6個(3環境×2)	2個
		期間	30日	2晩
昆虫類	ピットフォールトラップ	回数	—	3回(春、夏、秋)
		個数	—	30個(3地点×10)
		期間	—	1晩
	ベイトトラップ	回数	3回(春、夏、秋)	—
		個数	30個(3環境×10)	—
		期間	1晩	—
	ライトトラップ	回数	3回(春、夏、秋)	3回(春、夏、秋)
		個数	6個(3環境×2)	1個
		期間	1晩	1晩

※ 赤字は、上回っている項目を示す。 青字は、同等スペックの項目を示す。

生態系の調査を想定し、以下の3環境区分を設定。
定点調査やトラップは3環境区分それぞれに配置する。

● 樹林環境 ● 休耕田・耕作地 ● 河川・河川敷

